

04 サイトの見方

(全体版)



公益財団法人テクノエイド協会
The Association for Technical Aids(ATA)

Welcome to association for technical aids' home page

「事故・ヒヤリハット情報」の情報収集を行っております

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

最新の事故情報と安全な利用を推進するヒヤリハット情報を提供いたします

お知らせ NEW!

- 2026.03.16 【外部リンク】第12回ロボット大賞の募集について
- 2026.03.05 令和7年度第1期養成課程修了試験 合否結果通知に関するお詫びと訂正
- 2026.03.02 【外部リンク】令和7年度「+あんしん」受賞製品(6製品)の決定について(経済産業省)
- 2026.03.02 福祉用具に係る重大製品事故について(令和6年3月2日現在)
- 2026.03.01 福祉用具情報システム(TAIS) 最新情報(令和6年3月1日)を更新しました

自立支援機器を活用する就労支援プロジェクト

- 2025.10.02 就労支援プロジェクトの募集機関を更新しました
- 2025.09.18 就労支援プロジェクトの募集機関を掲載しました
- 2025.07.07 公募説明会の動画を掲載しました
- 2025.05.12 自立支援機器を活用する就労支援プロジェクトの公募について

福祉用具・介護テクノロジー実用化支援事業(厚生労働省) NEW!!

- 2025.12.19 介護テクノロジー等シンポジウムの開催について
- 2025.12.11 介護テクノロジー等の開発・導入助成制度の調査結果について
- 2025.11.13 介護テクノロジー等シンポジウムへの出席を募集いたします
- 2025.10.01 介護テクノロジー等活用ミーティングの開催について

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報 NEW!

- 福祉用具情報システム(TAIS) NEW!
- ・用具検索(19,328件)
- ・企業検索(970社)
- ・TAISへの情報登録(令和6年3月19日現在)

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

Information on accidents and near-misses of welfare equipment

ホーム > 福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

厚生労働省 委託事業 厚生労働省

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

この『福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報』は、福祉用具及び介護テクノロジーの利用にかかわる「事故及びヒヤリハット情報」を収集し、その要因分析及び加工を行い、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我などを未然に防止することを目的としたものです。

Case:287
雨のため介護者の足がすべり、転倒しそうになる

Case:272
介護者の足がいきなり床に接触し、バランスを崩して転倒しそうになる

Case:30
マットレスの下(床板のつなぎめ)に指を入れ、ケガをしそうになる

最新事故情報 事例検索 電子書籍 NEW 情報提供のお願い 情報の取り扱い リンク集 研修教材 お知らせ NEW

A B C D E F G H

A

最新事故情報

消費者庁や NITE が公表する最新の事故情報と、都道府県等を通じて収集した事故及びヒヤリハット情報の件数や特徴を「最近の傾向」として定期的に情報提供し、注意喚起しています。

最新事故情報

厚生労働省老健局
委託事業

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

この「最新事故情報」は、消費者庁やNITEが公表する最新の事故情報と都道府県等から情報提供された件数や特徴を「最近の傾向」として定期的に情報提供し、注意喚起するものです。

厚生労働省、消費者庁、NITEが公開している
介護機器に係る事故及びヒヤリハット情報

都道府県等を通じて、
情報収集した事故及びヒヤリハット情報

1. 最新事故情報の検索

厚生労働省

福祉用具に係る重大製品事故について（令和8年3月2日現在）（PDF：894KB）
福祉用具の重大製品事故報告に係る情報提供について（令和3年3月5日付 厚生労働省 事務連絡）（PDF：105KB）

事故情報データベースシステム
消費者庁

生命・身体被害に関する「消費生活上の事故情報」を公開。

SAFE-Lite（セーフ・ライト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

製品事故に特化したWeb検索ツール。感覚的な言葉から事故情報を検索、製品事故リスクへの気づきに活用。

最新事故情報の検索

消費者庁及び独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）のサイトにリンクしており、それぞれのページで実際の事故情報を検索することができます。

最近の傾向

収集した事故情報を、発生場面、福祉用具分類、利用シーン、利用場面、被害状況、の5つの視点でグラフ化し、傾向を示しています。

最近の傾向から見るヒヤリハット情報

最近の傾向のうち、福祉用具分類の上位3分類を表示し、それぞれの分類に該当するヒヤリハット情報にリンクしています。

注）福祉用具分類は、福祉用具分類コード（CCTA95）を用いて区分していますが、必ずしも製品に起因するものではありません。

80

B

事例検索

ヒヤリハット事例を検索するサイトです。

フリーワード欄に「車いす」「踏切」といったキーワードや事例のケース番号を入力して検索することができます。

利用シーンや利用場所、介護保険の種目等を選択して検索したり、全ての事例、新しい事例を選択して表示させたりすることもできます。

事例を探す

フリーワード

検索

全件表示

新しい事例

3月19日時点 **421件**
※新しい事例は令和7年度に追加・見直しされたものです

利用シーン から探す

起居・就寝

移動

立ち座り

移動

排泄

入浴

食事

整容

コミュニケーション

リモコン操作

階段の昇り降り

外出

乗り物

夜間

その他

主な 利用場所 から探す

寝室

リビング・居間

ダイニング・食堂

トイレ

浴室・脱衣所

廊下

階段

玄関

ドア・自動ドア

段差・縁石

坂道

踏切

車内

エレベーター

エスカレーター

その他

介護保険 の種目から探す
+

介護テクノロジー のカテゴリから探す
+

条件を入力 して探す
+

検索

指定した条件で検索した結果を一覧で表示します。

検索結果一覧

厚生労働省老健局
委託事業

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

フリーワード

車いす 踏切

検索

全件表示

新しい事例

3月19日時点 **421件**

※新しい事例は令和7年度に追加・見直しされたものです

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報の取り扱い

利用シーンから探す

主な利用場所から探す

介護保険の種目から探す

介護テクノロジーのカテゴリから探す

条件を入力して探す

検索

利用シーン： 起居・就寝

クリア

93件の結果があります

1 2 3 4 >



Case : 23
ベッドの柵（サイドレール）とベッドの柵（サイドレール）の間に首を挟み、重傷事故に遭いそうになる

介護保険の種目	分類コード (CCTA95)
特殊寝台付属品	181227 (ベッド用サイドレール、ベッド固定式起き上がり手すり)

死亡事故も複数報告されている危険な事例です。姿勢を崩し転倒につながるような行為をベッドの上で行うことは極力避けましょう。最近のベッドではこの…

詳細へ



Case : 24
ベッドを下げたとき、利用者のかかとがフレームと床の間に挟まり、ケガをしそうになる

介護保険の種目	分類コード (CCTA95)
特殊寝台	181209 (電動ギャッチベッド)

ベッドの機種により挟み込みやすさにも差がありますが、どの機種にも起こりうる事例です。離座位になってからベッドの高さを下げる操作は極力避け、や…

詳細へ



Case : 25
ベッドの背上げをしていた際に、腕をベッドの柵（サイドレール）に挟み、ケガをしそうになる

介護保険の種目	分類コード (CCTA95)
特殊寝台付属品	181227 (ベッド用サイドレール、ベッド固定式起き上がり手すり)

多くの事故が報告されている事例です。ベッドの柵（サイドレール）に限らず、ベッド用グリップでも起こります。介助者が操作する場合は、腕や足の位置…

詳細へ



Case : 26
ベッドの背を上げたところ、利用者の身体が足側に大きくズれる

介護保険の種目	分類コード (CCTA95)
特殊寝台	181209 (電動ギャッチベッド)

ベッドは簡単なスイッチ操作で背もたれの上下が可能です。背もたれだけの操作では身体が足方向に大きくズれます。この姿勢では腰部や胸が苦しくなり…

詳細へ

事例を選択すると、詳細情報を見ることができます

条件を追加して絞り込むことができます

82

事例詳細

厚生労働省老健局
委託事業 厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報の取り扱い ▶

一覧へ戻る

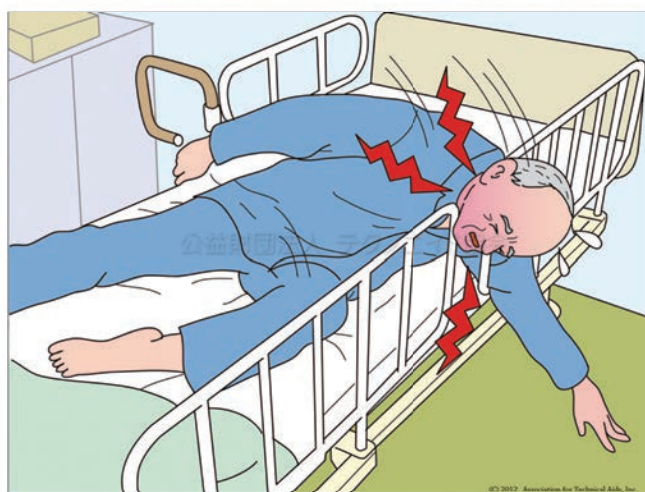
次の検索結果へ ▶

Case : 23

ベッドの柵（サイドレール）とベッドの柵（サイドレール）の間に首を挟み、重傷事故に遭いそうになる

場面の説明

ベッド上で姿勢を変えようと足を崩そうとした時バランスを崩し、首が挟まってしまった



利用シーン	起居・就寝
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台付属品
分類コード（CCTA95）	81227（ベッド用サイドレール、ベッド固定式起き上がり手すり）
介護テクノロジー	-

このページの
二次元バーコード

ダウンロードしてお使い下さい。



ダウンロード

解説

死亡事故も複数報告されている危険な事例です。姿勢を崩し転倒につながるような行為をベッドの上で行うことは極力避けましょう。最近のベッドではこのような事故が起こりにくいよう対策が施されていますが、古いタイプのもので危険を回避する対策部品が用意されていますので、その活用を考えましょう。

参考要因

人：隙間に挟まるという認識が欠けていた
モノ：隙間を埋める対策部品をつけていなかった
モノ：やわらかいマットレスで、姿勢保持が困難だった

印刷する

※ A4 サイズで収まる PDF ファイルが作成されます。

場面の説明で表示されている利用シーンや主な利用場所等をクリックすると、共通する項目の事例を見ることができます。

「このページの二次元バーコード」を読み込むと、スマートフォン等でこのページを表示させることができます。

「印刷する」ボタンから、A4 サイズで収まる PDF ファイルが作成できます。

最新の事例集を、電子書籍として掲載しています。

電子書籍

福祉用具ヒヤリハット事例集（令和8年3月）



この「福祉用具ヒヤリハット事例集」は、福祉用具及び介護テクノロジーの利用にかかわる「事故及びヒヤリハット」情報を収集し、その要因分析及び加工を行い、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我などを未然に防止することを目的としたものです。

また、各事例は「福祉用具分類コード（CCTA95）」に区分していますが、必ずしも製品に起因するものではなく、あくまで当該分類に関係する用具の使用又は準備の場面等において、発生し得るものを事例化したものです。加えて、各事例とも特定の製品を取り上げたものではありません。

福祉用具ヒヤリハット事例集
(令和8年3月)



D 情報提供のお願い

福祉用具・介護テクノロジーの利用に関わる「事故及びヒヤリハット」情報を収集しています。いただいた情報をもとに、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我などを未然に防止するため、事例を作成し発信することを目的としています。



情報提供のお願い

1. 目的

本事業では、福祉用具・介護テクノロジー（以下「介護機器」）の利用に関わる「事故及びヒヤリハット」情報を収集し、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我などを未然に防止するため、事例を作成し発信することを目的とします。

※ここでは介護機器としていますが、福祉用具と同義語です。

(1) 介護機器の範囲
 本事業において、取り扱う介護機器の範囲は、以下のとおりです。

- 在宅及び介護施設・事業所等において、使用される福祉用具等（高齢者の日常生活の便宜を図るための用具及び、介護を行う者の負担の軽減を図る用具）
- 介護保険において福祉用具貸与・特定福祉用具販売の対象となっている福祉用具
- 介護テクノロジー利用の重点分野（令和6年6月）及び厚生労働省が行う導入支援の対象となりうる介護テクノロジーとし、かつ実用化されているもの

(2) 事故及びヒヤリハット情報の対象
 原則、製品に起因しない事故及びヒヤリハットといたします。
 但し、公的機関等において現在調査中のものや、原因不明なものは含めることとし、あらかじめ製品の整備不良や経年変化等によるものの場合も含めることといたします。

(3) 事故及びヒヤリハット情報の定義
 本事業において、取り扱う事故及びヒヤリハットの定義は、以下のとおりといたします。

- 「事故」とは、死亡又は負傷・疾病（医師の診断や治療を必要とするもの（或いは、必要となると思慮されるもの））とする。
- 「ヒヤリハット」とは、事故や怪我に繋がるような危険な使い方及び場面、事象等とする。（6. 参考情報を参照）

例えば、

- ・事故や怪我は発生していないが、起こる可能性があるもの
- ・福祉用具等の単体に限定せず、高齢者の生活介護の全般から、事故等に繋がる恐れがあるもの
- ・誰もが感じる危険な使用方法或使用場面、適用状況など
- ・大きな事故を未然に防ぐため、介護現場で共有すべきと考えるもの
- ・福祉用具等の破損や紛失、盗難は除くこととするものの、それらの事象から怪我に繋がる危険性があるもの

3. 情報提供の方法

 情報提供に関するQ&A

本年度も「福祉用具・介護テクノロジー実用化支援事業」の一環として、情報収集を行います。情報提供の方法には以下の4通りの方法があります。

(1) 「介護保険施設等における事故の報告様式等」から情報提供する（※）
 （※）個人を特定する情報等を「黒塗り」して、そのまま情報提供してください。

(2) 「事故及びヒヤリハット」情報提供シートから情報提供する（Excel）

提供シートはこちら 

(3) 入力フォームから情報提供する（Web）

入力フォームはこちら

※一時保存できないため、あらかじめ入力内容をご確認ください

(4) その他の方法で情報提供する
 当協会へ問い合わせください。

上記（1）及び（2）の送信先、本件に関する問い合わせ先
 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東・松本・堀江・五島（ごしま）
 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
 TEL : 03-3266-6883
 E-mail : robocare@techno-aids.or.jp

E

情報の取り扱い

ヒヤリハット情報の取り扱いや、本サイトで取り扱う情報の範囲及び対象、定義等をお示しています。

情報の取り扱い

厚生労働省老健局
委託事業

厚生労働省
高齢社会政策推進部

福祉用具等ヒヤリハット情報の取り扱い

- 近年、在宅・施設を問わず、「福祉用具や介護テクノロジー（以下「福祉用具」）」を利用する機会が増加しております。
- この『福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報』は、福祉用具及び介護テクノロジーの利用にかかわる「事故及びヒヤリハット情報」を収集し、その要因分析及び加工を行い、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我などを未然に防止することを目的としたものです。
- 情報は、消費者庁より公表される福祉用具に係る事故情報や製品評価技術基盤機構より公表されている福祉用具に係る事故情報、さらには都道府県の協力を得て市町村及び介護施設等から収集したものを事例情報として加工したものです。従って、正確な原因や情報が不足している中で検討し、作成したものであるとともに、イラストについても特定の福祉用具を取り上げて再現したものではありません。
- 事例を作成する作業は、高齢者介護の現場に詳しく、かつ福祉用具に関する専門的な知識を有する者からなる作業部会を協会に設置して行いました。
- 福祉用具は、高齢者の自立を支援し、介護者の負担を軽減するものとして、極めて有用なものです。誤った使い方や、利用者の身体能力と用具の不適合等から、一歩間違えば大きな事故を招く恐れもあります。
- 本サイトでは、製品に起因しない事故やヒヤリハットを中心に掲載しております。本情報を関係者が共有することにより、大きな事故等を未然に防止するとともに、安心・安全な福祉用具の利用に役立てていただければ幸いです。
- これまでに協会で作成した事例をすべて掲載しております。事例により、加筆・修正等している場合があります。

本サイトで取り扱う情報の範囲及び対象、定義

- 介護機器の範囲** ※ここでは介護機器としていますが、福祉用具と同義語です。
本事業において、取り扱う介護機器の範囲は、以下のとおりです。
 - 在宅及び介護施設・事業所等において、使用される福祉用具等（高齢者の日常生活の便を図るための用具及び、介護を行う者の負担の軽減を図る用具）
 - 介護保険において福祉用具貸与・特定福祉用具販売の対象となっている福祉用具
 - 介護テクノロジー利用の重点分野（令和6年6月）及び厚生労働省が行う導入支援の対象となりうる介護テクノロジーとし、かつ実用化されているもの
- 事故及びヒヤリハット情報の対象**
原則、製品に起因しない事故及びヒヤリハットといたします。
但し、公的機関等において現在調査中のものや、原因不明なものは含めることとし、あきらかに製品の整備不良や経年変化等によるものの場合も含めることといたします。
- 事故及びヒヤリハット情報の定義**
本事業において、取り扱う事故及びヒヤリハットの定義は、以下のとおりといたします。
 - 「事故」とは、死亡又は負傷・疾病（医師の診断や治療を必要とするもの（或いは、必要となると思慮されるもの））とする。
 - 「ヒヤリハット」とは、事故や怪我に繋がるような危険な使い方及び場面、事象等とする。例えば、
 - ・ 事故や怪我は発生していないが、起こる可能性があるもの
 - ・ 福祉用具等の単体に限定せず、高齢者の生活介護の全般から、事故等に繋がる恐れがあるもの
 - ・ 誰もが感じる危険な使用方法や使用場面、運用状況など
 - ・ 大きな事故を未然に防ぐため、介護現場で共有すべきと考ええるもの
 - ・ 福祉用具等の破損や紛失、盗難は除くこととするものの、それらの事象から怪我に繋がる危険性があるもの

情報提供のお願い

当協会では「福祉用具・介護テクノロジー実用化支援事業」の一環として、福祉用具及び介護テクノロジーの利用に関わる「事故及びヒヤリハット情報」を収集しております。

情報提供いただける方は、下記のページからお願い致します。

[情報提供のお願いはこちら](#)

リンク集

福祉用具の安全な利用を推進するため、様々な関係機関から情報提供されている内容をリンク集として整理しております。合わせてご覧ください。

[リンク集はこちら](#)

F リンク集

事故・ヒヤリハットの情報や、事故予防に関連するサイトのリンク集です。

厚生労働省

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

一般社団法人日本福祉用具供給協会

医療・介護ベッド安全普及協議会

消費者庁

公益財団法人テクノエイド協会

電動車いす安全普及協会

JASPA介護リフト普及協会

経済産業省

一般社団法人日本福祉用具生活支援用具協会（JASPA）

株式会社三菱総合研究所

一般財団法人JASPEC

厚生労働省のHP

介護保険施設等における事故の報告様式等について（介護保険最新情報vol.1332）

（令和6年11月29日老高発1129第1号ほか厚生労働省老健局高齢者支援課長ほか連名通知）

福祉用具の重大製品事故報告に係る情報提供について（事務連絡）

消費者庁のHP ※福祉用具以外も含む。

消費者安全 -消費者の生命・身体の安全の確保に関する取り組み-

消費者安全法の重大事故等に係る公表情報

消費生活用製品安全法の重大製品事故に係る公表情報

消費者安全法に基づき、関係機関から事故情報を一元的に集約し、その分析・原因究明等を行い、被害の発生・拡大防止を図っている。

重大事故等については、該当すると判断（該当すると見込まれると判断したものも含む。）した時点で直ちに通知いただくこととなっている。

また、重大事故等を除く消費者事故等については、通知主体において消費者事故等が発生した旨の情報を得た場合であって、被害の拡大又は同種・類似の消費者事故等が発生するおそれがあると認める時点で速やかに通知いただくこととなっている。

H P内）消費者事故等（生命・身体分野）の公表までのフローを参照

事故情報データベースシステム

生命・身体被害に関する「消費生活上の事故情報」を公開しており、過去の情報を検索・閲覧できる。

経済産業省のHP ※福祉用具以外も含む。

消費生活用製品等による事故等に関する情報提供の要請について（再周知）（H29.6.19）

「誤使用・不注意による製品事故リスクを低減した製品の表彰・表示制度」について

高齢者の製品事故について

製品安全ガイド NEW

独立行政法人製品評価技術基盤機構のHP（NITE） ※福祉用具以外も含む。

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の事故情報収集制度について

事故情報収集制度の概要

製品事故情報・リコール情報

NITEでは、1996年度から収集した事故について、データベースをホームページで公開している。

SAFE-Lite（セーフ・ライト）

スマートフォンやパソコンから簡単に無料で利用できる製品事故に特化したWeb検索ツール。

日ごろ使用している感覚的な言葉から事故情報を検索することができ、製品事故リスクへの気づきに活用できる。

<https://www.nite.go.jp/data/000135182.pdf>

研修教材

各事例の情報を、研修教材として使用可能な形で出力することができます。利用シーンやフリーワード、一覧から事例を選択することができます。

出力の仕方は、「研修教材の出力方法」ボタンよりご覧いただけます。

研修教材 を利用シーンから探す

起居・就寝 (93件)	移動 (69件)	立ち座り (56件)	移動 (175件)	排泄 (19件)	入浴 (43件)	食事 (9件)	整容 (0件)
コミュニケーション (0件)	リモコン操作 (35件)	階段の昇り降り (20件)	外出 (98件)	乗り物 (17件)	夜間 (18件)	その他 (22件)	

フリーワード検索

検索
全件表示
新しい事例

3月21日時点 421件

※新しい事例は令和7年度に追加・見直しされたものです

研修教材の出力方法

クリア

421件の結果があります

1
2
3
4
>

ダウンロード	イメージ図	事例	介護保険の種目	分類コード	解説
☐		Case : 1 <u>下に落ちたモノを拾おうとして、前方へ転倒しそうになる</u>	車いす	122106（後輪駆動式車いす）	これは意外に多く起こっている事例です。大切なモノを下に落として慌てたのかもしれません。足をフットサポートから下ろさずに前かがみになったことな…
☐		Case : 2 <u>フットサポートを踏んだ状態で立ち上がり、車いすごと転倒しそうになる</u>	車いす	122106（後輪駆動式車いす）	高いところにあるモノを取ろうとすると足元に注意がいかず、このような危険な事例が起こりやすくなります。フットサポートから足を下ろすことを習慣化…

[illegible]

福祉用具リハビリハット 研修教材（受講者用）		
日付： _____	所属： _____	氏名： _____

Case 7
ベッドへの移乗時、新しいフットサポートに足が慣れず、ケガをしようとする



資料のダウンロード
QRコード

場面の説明

介護者が新しい車を引いた際、フットサポートが利用者の足にあたってしまった



どうしてこのような事態が起きたのですか？	どうしてこのような事態が起きませんでしたか？
1.（本人・介護者・関係者）の要因	
2. ユーザー（福祉用具）の要因	
3. 環境の要因	
4. 指導者の要因	

その他 _____

作成：公益財団法人ケア・デザイン・研究所

Copyright © 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

(講師用)

(受講者用)

H お知らせ

事故・ヒヤリハットに関連する情報を、お知らせとして掲載しています。

お知らせ

厚生労働省老健局
委託事業

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

2026.03.02 2026.01.05 2026.01.05 2025.09.19 2025.05.19 2025.04.09 2025.03.18 2024.12.24 2024.08.30 2024.04.12 2023.05.22 2023.05.09	<u>福祉用具に係る重大製品事故について（令和8年3月2日現在）</u> NEW <u>【外部リンク】「製品安全対策優良企業表彰（+あんしん）」について（経済産業省）</u> <u>【外部リンク】「製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）」説明会の開催（経済産業省）</u> <u>【外部リンク】経済産業省「誤使用・不注意による製品事故リスクを低減した製品に対する表彰」（+あんしん表彰）説明会開催のご案内について</u> <u>新規事例が追加になりました</u> <u>（経産省、お知らせ）製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）2025の告知について</u> <u>（経産省、お知らせ）「誤使用・不注意による製品事故リスクを低減する製品の表彰・表示制度」の募集</u> <u>【外部リンク】令和6年度「製品安全対策優良企業表彰／受賞企業講演会」について（経済産業省）</u> <u>研修教材の出力機能を追加しました</u> <u>【外部リンク】製品安全対策優良企業表彰（PSアワード2024）の応募説明会・個別相談会（経産省）</u> <u>福祉用具の重大製品事故報告に係る情報提供について（令和3年3月5日付 厚生労働省 事務連絡）</u> <u>福祉用具ヒヤリハット情報をリニューアルしました</u>
---	--